



2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月14日

上場会社名 株式会社オーケーウェブ 上場取引所 名
コード番号 3808 URL <https://www.okwave.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉浦 元
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理担当執行役員 (氏名) 石川 修 (TEL) 03(6823)4306
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績(2025年7月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	64	47.8	△28	—	△35	—	△35	—
2025年6月期第1四半期	43	12.0	△49	—	△47	—	△44	—

(注) 包括利益 2026年6月期第1四半期 △35百万円(—%) 2025年6月期第1四半期 △44百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	△0.73	—
2025年6月期第1四半期	△1.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第1四半期	1,886	574	28.0
2025年6月期	1,725	372	18.9

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 527百万円 2025年6月期 325百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年6月期	—	—	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日～2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	300～500	27.8～113.0	△100～1	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名) — 、除外 —社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年6月期1Q	50,482,504株	2025年6月期	46,034,804株
2026年6月期1Q	86株	2025年6月期	86株
2026年6月期1Q	49,032,081株	2025年6月期1Q	40,729,018株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2025年7月1日～2025年9月30日)においては、クラウドサンクスカード「GRATICA」は、高単価顧客の獲得により、前年同四半期と比べると顧客数は減少したものの、売上高は前年同四半期を上回る着地となりました。Q&Aコミュニティ「OKWAVE」と連携した「OKWAVE Plus」は引き続きコンシューマー向けメーカーのカスタマーサポート部署において長期にわたりご活用いただいております。当第1四半期連結累計期間では、解約は生じなかったものの、新規契約獲得がなく、売上高は前年同四半期を下回る着地となりました。生成AIが世の中に広く浸透してきたなか、当第1四半期連結累計期間では、「GRATICA」「OKWAVE Plus」とともに、サービスの価値を改めて見直し、新機能開発の着手や、新たなサービスパッケージの顧客提案等を進めております。今後も、潜在顧客層への効果的なアプローチを行い、継続収益を積み上げていくことに注力してまいります。

一方、純広告を中心としたメディアサービスは、2025年4月に受託したabc株式会社のWebプロモーション業務の役務提供が順調に進行しており、前年同期を大きく上回る着地となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は64,227千円(前年同四半期比20,757千円増)となりました。

営業損益におきましては、当社従業員の新規採用により採用費及び人件費が増加したものの、支払報酬や株式報酬費用の減少により、総コスト(売上原価と販管費の合計)は前年同四半期とほぼ同水準となりました。売上高増加の寄与が大きく、営業損益は前年同四半期より改善しているものの、依然として固定費を回収できるまでの売上増加計画の途上にあり、その結果、営業損失28,993千円(前年同四半期は49,266千円の営業損失)となりました。

経常損益におきましては、当第1四半期連結累計期間では、株主代表訴訟対応等の臨時の弁護士費用等の発生があり、経常損失35,416千円(前年同四半期は47,745千円の経常損失)となりました。また、当第1四半期連結累計期間では、特別損益の発生はなく、親会社株主に帰属する四半期純損失35,758千円(前年同四半期は44,017千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)を計上しております。

売上高及び各段階利益は前年同四半期と比べて改善しているものの、依然として経営再建の途上にあり、営業損失の改善及び営業利益の創出に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(ア) 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、1,886,496千円(前連結会計年度末比161,165千円増)となりました。これは主に、運転資金の支出のほか、第24回新株予約権の行使による払込があったこと等により現金及び預金が158,488千円増加したこと等によるものであります。

(イ) 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債総額は、1,312,049千円(前連結会計年度末比40,764千円減)となりました。これは主に、未払金及び未払費用が11,939千円減少、前受金が12,515千円減少したこと等によるものであります。

(ウ) 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、574,447千円(前連結会計年度末比201,930千円増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失により利益剰余金が35,758千円減少したこと、第24回新株予約権の行使による新株発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ118,798千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の通期連結業績予想につきましては、2025年8月14日に公表した「2025年6月期 決算短信」に記載の数値から変更はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2020年6月期以降営業損失の状況が継続しており、2021年6月期以降については親会社株主に帰属する当期純損失も継続して計上している状況にあります。当第1四半期連結累計期間では、営業損失28,993千円、親会社株主に帰属する四半期純損失35,758千円となり、このような状況から継続企業の前提に重要な疑義を生

じさせるような事象又は状況が存在しております。

当該状況を解消するために、当社グループは、下記の通り収益構造の改善及び財務基盤の安定化に取り組んでおります。

①収益構造の改善

2025年8月14日に発表した中期経営計画に基づき、事業成長の確実性が高い分野へリソースを再配分することで、営業損益及び営業キャッシュ・フローの向上を図ってまいります。また、引き続き不要なコストを徹底的に削減してまいります。

②M&Aの実施による収益構造の改善

前第1四半期連結累計期間において、株式会社オープンサイトの全株式を取得し、2025年10月には株式会社メディアリメイクの全株式を取得しましたが、今後もM&Aにより収益力のある企業・事業をグループ化することにより、当社グループの事業展開を加速させるとともに、営業損益及び営業キャッシュ・フローの向上を図ってまいります。

③財務基盤の安定化

当社グループは、運転資金の安定的な確保と維持に向け、コスト削減の徹底と子会社の解散・清算を進めてまいりました。今後もグループ内の資金を最大限に有効活用していくべく、取引金融機関等に対しても、引き続き協力を頂くための協議を進めていくとともに、必要に応じてエクイティファイナンスの検討も行なってまいります。

しかしながら、当第1四半期連結累計期間において28,993千円の営業損失の状況であることから、現時点においては、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	542,309	700,798
売掛金	16,132	15,263
前払費用	11,099	16,318
その他	10,546	11,987
流動資産合計	580,087	744,368
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	1,281	1,281
減価償却累計額	△1,281	△1,281
工具、器具及び備品（純額）	0	0
有形固定資産合計	0	0
無形固定資産		
ソフトウェア	2,672	2,311
のれん	73,820	70,786
その他	0	0
無形固定資産合計	76,492	73,098
投資その他の資産		
投資有価証券	42,937	43,155
差入保証金	712	714
長期貸付金	60,987	61,046
破産更生債権等	4,933,032	4,933,032
長期未収入金	115,789	117,529
繰延税金資産	8,245	8,245
貸倒引当金	△4,092,954	△4,094,694
投資その他の資産合計	1,068,751	1,069,030
固定資産合計	1,145,243	1,142,128
資産合計	1,725,331	1,886,496

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,414	3,270
未払金及び未払費用	220,068	208,128
未払法人税等	10,030	2,931
前受金	67,125	54,610
仮受金	1,017,058	1,017,075
その他	7,116	4,472
流動負債合計	1,324,813	1,290,489
固定負債		
長期前受金	28,000	21,560
固定負債合計	28,000	21,560
負債合計	1,352,813	1,312,049
純資産の部		
株主資本		
資本金	150,922	269,720
資本剰余金	1,994,993	2,113,791
利益剰余金	△1,808,903	△1,844,662
自己株式	△85	△85
株主資本合計	336,927	538,764
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9	208
為替換算調整勘定	△11,018	△11,026
その他の包括利益累計額合計	△11,027	△10,818
新株予約権	46,618	46,501
純資産合計	372,517	574,447
負債純資産合計	1,725,331	1,886,496

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	43,470	64,227
売上原価	30,261	31,514
売上総利益	13,208	32,712
販売費及び一般管理費	62,475	61,706
営業損失(△)	△49,266	△28,993
営業外収益		
受取利息	24	389
為替差益	—	52
未払配当金除斥益	2,725	—
雑収入	1,092	48
営業外収益合計	3,842	490
営業外費用		
支払手数料	—	66
支払報酬	800	6,846
為替差損	319	—
雑損失	1,201	—
営業外費用合計	2,321	6,913
経常損失(△)	△47,745	△35,416
特別利益		
和解金収入	4,000	—
特別利益合計	4,000	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△43,745	△35,416
法人税、住民税及び事業税	271	342
法人税等合計	271	342
四半期純損失(△)	△44,017	△35,758
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△44,017	△35,758

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期純損失(△)	△44,017	△35,758
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△978	217
為替換算調整勘定	35	△8
その他の包括利益合計	△943	209
四半期包括利益	△44,960	△35,549
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△44,960	△35,549
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、2020年6月期以降営業損失の状況が継続しており、2021年6月期以降については親会社株主に帰属する当期純損失も継続して計上している状況にあります。当第1四半期連結累計期間では、営業損失28,993千円、親会社株主に帰属する四半期純損失35,758千円となり、このような状況から継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当該状況を解消するために、当社グループは、下記の通り収益構造の改善及び財務基盤の安定化に取り組んでおります。

①収益構造の改善

2025年8月14日に発表した中期経営計画に基づき、事業成長の確実性が高い分野へリソースを再配分することで、営業損益及び営業キャッシュ・フローの向上を図ってまいります。また、引き続き不要なコストを徹底的に削減してまいります。

②M&Aの実施による収益構造の改善

前第1四半期連結累計期間において、株式会社オープンサイトの全株式を取得し、2025年10月には株式会社メディアリメイクの全株式を取得しましたが、今後もM&Aにより収益力のある企業・事業をグループ化することにより、当社グループの事業展開を加速させるとともに、営業損益及び営業キャッシュ・フローの向上を図ってまいります。

③財務基盤の安定化

当社グループは、運転資金の安定的な確保と維持に向け、コスト削減の徹底と子会社の解散・清算を進めてまいりました。今後もグループ内の資金を最大限に有効活用していくべく、取引金融機関等に対しても、引き続き協力を頂くための協議を進めていくとともに、必要に応じてエクイティファイナンスの検討も行なってまいります。

しかしながら、当第1四半期連結累計期間において28,993千円の営業損失の状況であることから、現時点においては、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、第24回新株予約権の権利行使による新株発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ118,798千円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本金が269,720千円、資本剰余金が2,113,791千円となっております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	290千円	360千円
のれんの償却額	2,022千円	3,033千円

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2025年10月1日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社メディアリメイクの全株式を取得して子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、全株式を取得しました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の概要

被取得企業の名称：株式会社メディアリメイク

事業の内容：SNSメディア運用に関する事業

② 企業結合を行った主な理由

当社は、「世界中の“ありがとう”の物語を蓄積し可視化する」をパーパスとして掲げ、法人・個人向けコミュニティサービスを展開しております。

株式会社メディアリメイクは、SNSを起点としたオンラインスクール事業やインフルエンサープロモーション事業を展開している企業です。

一方、当社では、お互いに助け合いサポートし合う（互助）プラットフォームであるQ&A形式のコミュニティサイト「OKWAVE」の運営や、企業向けに従業員間で「感謝の気持ち」を伝え合えるデジタルサンクスカードサービス「GRATICA」の提供を行っております。また、2025年8月14日に公表した「中期経営計画説明資料」に記載のとおり、スクール領域や人材マッチング領域へのサービス展開を検討しておりました。

その一環として、総会員数300名以上を抱えるSNS×コーチングのハイブリッド型スクールを運営する株式会社メディアリメイクの株式を取得し、スクール領域における本格的なサービス展開の足掛かりとします。具体的には、2026年6月期において、SNS運用人材の育成に加えて、新たな領域のスクールの展開や、当社メディアを活用した受講生の獲得などを予定しております。スクール領域のサービスを通じて、個人のキャリアと人生を支援することで、当社が中長期的に目指す「世界中の“ありがとう”の物語を蓄積し可視化する」世界の実現を目指してまいります。

③ 企業結合日

2025年10月1日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得する議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った根拠

当社が現金を対価として全株式を取得したためであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	55百万円
取得原価		55百万円

なお、取得日以後3年間における各期の営業利益が一定水準を超えた場合、成功報酬として最大60百万円の支払いが発生する可能性があります。

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定していません。

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定していません。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定していません。